

第 8 章	社会(公民)	名前:		日 付	No.02
	裁判所				

[問題 1]

裁判が内閣や国会の干渉を受けないように、裁判官は良心と憲法および法律のみにしたがって裁判を行うという原則を、何の独立というか。

[解答欄]

--

[問題 2]

次の憲法の条文を読み、下の各問いに答えなさい。

「すべて(①)権は、最高裁判所及び法律の定めるところにより設置する下級裁判所に属する」

(第 76 条 1 項)

「すべて裁判官は、その(②)に従い(④)してその職権を行い、この憲法及び(③)にのみ拘束される」(第 76 条 3 項)

(1) 上の憲法の条文の①～③にあてはまる語句を漢字で答えなさい。

(2) 上の憲法の条文の④にあてはまる語句を次から選びなさい。

[協力 指揮 独立 連帯]

[解答欄]

(1)①		②		③		(2)	
------	--	---	--	---	--	-----	--

[問題 3]

a 裁判所は国会や内閣などの外部の干渉によって裁判がゆがめられないように、裁判官は(①)と法律に従うほかは、自らの(②)にしたがって裁判を行うという原則がある。そのため裁判官の身分は強く保障されており、心身の故障と国会が設けた(③)における裁判以外では罷免されない。また、b 裁判所は法律や国の行為が憲法に違反していないかどうかを判断する権限をもっている。

(1) 文中の()にあてはまる語句を答えなさい。

(2) 下線部 a の原則を何といいますか。

(3) 下線部 b の権限を何といいますか。

[解答欄]

(1)①		②		③		(2)	
(3)							

[問題 4]

次の文の①～③に適語を入れよ。

最高裁判所の長たる裁判官は(①)の指名にもとづいて(②)が任命する。

その他の裁判官は(③)が任命する。

[解答欄]

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

[問題 5]

次の説明文中の①、②にあてはまる語句を、それぞれ漢字 2 字で答えよ。

裁判が公平に行われるために、裁判官は自らの良心と憲法および法律のみにしたがって裁判を行わなければならない。また、裁判官の身分は保障されており、国会が設けた(①)裁判, 身心の故障, 国民が最高裁判所の裁判官に行う国民(②)以外では罷免されない。

[解答欄]

①		②	
---	--	---	--

[問題 6]

裁判所にあたえられている, 法律・命令・規則などが憲法に違反していないかどうかを判断する権限を何といますか。

[解答欄]

--

[問題 7]

最高裁判所は, 行政の行為や法律が合憲かを判断する最終的な決定権をもつことから, 憲法の何とよばれているか。

[解答欄]

--

[問題 8]

次の文の①～③に適語を入れよ。

日本国憲法は, 日本のあらゆる法の中の(①)であり, 憲法に違反する法律や国の行為などはすべて(②)であるとしている。ただし, 裁判所は法律などが合憲かどうかを 1 つずつ審査するのではなく, 具体的な事件の裁判をとおして合憲かどうかを審査する。その最終的な決定権を持つ最高裁判所は「(③)」ともいわれる。

[解答欄]

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

[問題 9]

最高裁判所が「憲法の番人」と呼ばれるのは, 裁判所が持つ何という権限の最終的な権限を持つからか。

[解答欄]

--

[問題 10]

裁判所が, 法律などが憲法に適合しないと判断した場合, その法律はどうか, 「効力」という語句を使用して簡単に説明しなさい。

[解答欄]

--